

発言通告表（一般質問）

令和4年6月定例会

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
1	遠藤 盛正（14）	<p>1. 富士市のスポーツツーリズムを進めるための観光交流拠点機能の整備について</p> <p>本年4月、第三次富士市スポーツ推進計画（5か年間）が示されました。基本目標には『『する』『みる』『ささえる』スポーツ参画人口の拡大』を掲げています。幾多の課題はあるものの、富士市民に対するスポーツの推進がうたわれているところは、大いに期待が持てるものですが、これからの課題として「身近なスポーツ環境の整備と情報発信が十分でない」、「全国規模大会の開催が増えていない」という点について、スポーツツーリズムの視点から再編及び新設された産業交流部交流観光課の役割について伺います。</p> <p>第三次富士市スポーツ推進計画の中で、スポーツ環境の整備・充実では、これからスポーツ施設の維持・改修、スポーツ関連情報の発信等に取り組むとしています。これまで市内スポーツ施設の大半を公益財団法人富士市振興公社が指定管理者として運営管理していますが、今年度様々な問題について検討・議論されていて、本年10月頃には今後の指定管理者について、何かしらの答えが出るようなので、充実した体制が組めるよう期待しております。ただし、検討していただく中で、現在の富士市スポーツ施設指定管理者の仕様書にある「自主事業を拡大し、魅力ある事業を展開する」という点の解釈については、いま一度、指定管理者が伸び伸びと活躍できるような見直しをお願いします。</p> <p>今回の質問に当たり、「スポーツツーリズムとは」について確認したいと思います。スポーツツーリズムとは、スポーツを「観る（観戦）」、「する（楽しむ）」ための移動だけではなく、周辺の観光要素、スポーツを「支える」人々の交流や地域連携など、スポーツとの関わりを持つ様々なシーンに観光要素を付加してサービスの複合化を目指すものです。令和7年度、供用が開始される予定の富士市総合体育館や富士川緑地の整備が進んでいる中、スポーツのメッカとして施設は充実されても、管理運営体制ができていなければ「仏作って魂入れず」になってしまいます。</p> <p>そこで今回の質問は、スポーツツーリズムを実現するために富士市が観光交流拠点機能をどのようにつくり上げていくか伺います。また、富士市総合体育館については御承知のように、PFI事業により民間の管理・運営が決まっています。再整備される富士川緑地をはじめとする市内のスポーツ施設の管理・運営について、スポーツツーリズムの観点から、民間活力を生かしどのように進めていくのか、今年度再編・新設された産業交流部交流観光課の役割について、以下質問いたします。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1	遠藤 盛正（14）	<p>(1) 以前のスポーツ振興課から移管されたものに、富士山女子駅伝、富士山サイクルロードレース、ふじかわキウイマラソン、オリンピック時などでの海外からの合宿誘致があると思うが、これらへのこれからの関わり方とそれ以外の大会・合宿の誘致は考えているか。</p> <p>(2) 観光を兼ねるスポーツツーリズムを進めるには、富士山観光交流ビューロー、富士川楽座との連携は欠かせないと思うが、その関わり方と、その他富士市で行われている全国大会の競技について、各種スポーツ関係団体やホテル旅館業組合との連携はどのように考えているか。</p> <p>(3) 以前より御提案している富士川緑地を利用したスポーツ合宿や大会を誘致するためには、近くに合宿施設や室内練習場が必要だと訴えてきた。本年4月に静岡県のある所有地である県営住宅自由ヶ丘団地で一部跡地が売却されると聞いた。そこで同地に県主導で合宿施設、室内練習場を建設していただくよう、富士市からお願いしてはと思うがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
2	一条 義浩（23）	<p>1. 新型コロナワクチンの長期的な副反応への対応について 新型コロナウイルス感染時の重症化予防への期待から、ワクチン接種が着々と進められています。</p> <p>そうした中、厚生労働省は、長期的な副反応を訴える方が全国で増え続けている状況を受け、本年3月24日に「遷延(※)する症状を訴える方に対応する診療体制の構築について」として、都道府県に相談窓口や医療提供体制の確保を求める通知を出したところです。</p> <p>これを受け、以下質問いたします。</p> <p>(1) 長期的な副反応を訴える方の現況を把握しているか。</p> <p>(2) 予防接種健康被害救済制度の申請状況について。</p> <p>(3) 市立中央病院において、長期的な副反応に悩む方の受入れを標榜すべきと考えるがいかかがか。</p> <p>※遷延(せんえん)・・・物事や病状が長引くこと。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
3	望月 徹（3）	<p>1. 市民のニーズに対応する「なんでも総合相談センター」の創設を</p> <p>本市では、市民の皆様からの各種手続を含めた問合せ、相談事に対し、電話の場合はコールセンターが、来庁の場合は2階の総合案内で直接対応できることは率先して実施し、あとは、的確に担当部署につないでおります。また、「私の便利帳」冊子の中で、市民の方が必要とする相談窓口を4ページにわたり明記しております。本市として市民の皆様からの問合せ、困り事に全て対処することを目標に、窓口に来ていただければ、そこからは、相談、手続など対処していくシステムを整えています。</p> <p>しかし、このような相談システムを知らない、敷居が高い、どこへ伺えばよいか分からないので連絡しないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。また、いじめのことで学校は相談に乗ってもらえなかったという新聞の報道もありました。医療事務の手続で簡単にできないかとの陳情を受けたこともあります。市民の皆様からの困り事から担当窓口までの距離を短くすることができれば、気軽に伺える場があれば、手続の不明な点についてワンストップで対応することができれば、相談したいことがあるが仕事で伺えないということが解消することができれば、さらなる市民サービスの向上につながると考え、以下質問いたします。</p> <p>市民の皆様からの困り事、悩み事、各種手続の相談などに対し、ワンストップで対応する「なんでも総合相談センター」を創設することでさらなる市民サービスの向上が図られると考えますが、当局の見解をお伺いします。</p> <p>2. 差押え預金口座の誤りに学ぶ、今後の対策について</p> <p>本市は令和4年4月25日に滞納者の預金口座への差押えを実施したが、誤って別人の預金口座を差し押さえ、翌日、被害者からの連絡により発覚、謝罪するとともに5月2日、被害者へ返金しました。事の重大さに鑑み、5月19日付で報道機関に公表いたしました。その中で、原因は「本人特定の確認作業が不十分であり、また、決裁時における複数人でのチェックが機能していなかったこと」としています。再発防止策として「差押え業務における本人確認作業の徹底を図るとともに、決裁時のチェック体制を強化し、再発防止に努めてまいります」と公表しています。</p> <p>この件から、本市の業務全般について、再発防止に向けた取組を以下質問いたします。</p> <p>(1) 原因について、「複数人でのチェックが機能していなかった」とは、決裁書類に根拠資料の添付及びチェックシートがルール化されていなかったことが挙げられます。重要事項の書類決裁時に根拠資料の添付、チェックシートの活用がルール化されていないことについて、本市の業務全般の中で、確認、実施していく必要があると考えますが、当</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
3	望月 徹（3）	<p>局の見解をお伺いします。</p> <p>(2) 再発防止策について、事務処理の多くの作業は、前任者から引き継いでいきます。このときの意識は「従来どおり」がベースになっていると考えられます。この意識の改革を推進していくことが再発防止につながると考えますが、当局の見解をお伺いします。</p>	<p>市 長 及 び 担 当 部 長</p>

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	佐野 智昭（6）	<p>1. 田子の浦港のにぎわいづくりを官民協働で計画的・戦略的に推進し加速させていくために</p> <p>田子の浦港振興ビジョン（以下「本ビジョン」という。）のにぎわいづくり編は、平成30年3月におおむね10年後の将来を見据えて改訂され、今年が中間年である短期終了の5年目に当たる。</p> <p>この間の状況を振り返ると、2年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の流行、ここ数年のしらすの不漁は、にぎわいづくりに対して大きなダメージとなっている。</p> <p>また、令和3年6月定例会では、「田子の浦港振興ビジョン早期実現を求める陳情」が出され、5項目について早期実現を目指し、目標年度を設定しての進行管理が要望された。議会としては、市当局の所見に対して、市が強いイニシアチブを取って推進することという要望を付して了承したところである。それを受けて市当局では、田子の浦港振興ビジョン推進協議会にぎわいづくり部会の下部組織として設置した「にぎわいワーキンググループ」において、主にプロムナードゾーンについて検討し、整備の方向性が示されたところである。</p> <p>その他、令和元年11月には田子の浦港周辺施設が「みなとオアシス田子の浦」に登録され、令和3年4月には鈴川海浜スポーツ公園が完成している。</p> <p>このように、田子の浦港を取り巻く社会・経済情勢は大きく変化し、新たな局面を迎えていると言える。また、本ビジョンに示されている取組内容についても、状況が変わってきているもの、実現の目途が立っていないもの、変更が必要なもの、既に実施し検証が必要なもの、新たな位置づけが必要なものなどがあるとともに、総体的に進捗状況は遅れているように感じる。</p> <p>本ビジョンには、「社会・経済情勢の変化などがあった場合は、必要に応じて見直しを行う」と明記されており、まさに今がそのときではないかと考える。</p> <p>そこで、本ビジョンの内容や進捗状況を検証し、改めて将来に向けた田子の浦港の在り方を静岡県、富士市、関係機関・企業、市民等が共有し、その実現のための各種取組・施策を協働で計画的・戦略的に推進し加速させていけるよう、本ビジョンや関連計画の改訂が必要であると考え、以下質問する。</p> <p>(1) 本ビジョン策定の目的である観光・交流の促進によるにぎわいづくりの創造について伺う。</p> <p>① 観光・交流の促進によるにぎわいづくりの創造とは、どのような状態をイメージしているか。</p> <p>② 観光・交流の促進によるにぎわいづくりの創造についての現時点での達成度は、総体的に見てどの程度であると認識しているか。</p> <p>(2) 本ビジョンの基本目標に対する現時点での成果と課題について伺う。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	佐野 智昭（6）	<p>① 基本目標Ⅰの「拠点内にたまるにぎわいづくり」に掲げられている、田子の浦港漁協食堂、ふじのくに田子の浦みなど公園のにぎわい拠点機能の強化についての成果と課題をどのように捉えているか。</p> <p>② 基本目標Ⅱの「拠点間をつなぐにぎわいづくり」に掲げられている、プロムナードゾーンについての成果と課題をどのように捉えているか。</p> <p>③ 基本目標Ⅲの「地域資源をめぐるにぎわいづくり」に掲げられている、田子の浦港周辺の陸上を巡るネットワーク環境、海上で巡るネットワーク動線についての成果と課題をどのように捉えているか。</p> <p>④ 基本目標Ⅳの「戦略的なプロモーションによるにぎわいづくり」に掲げられている、田子の浦港の魅力を知ってもらうための仕掛け、実際に来てもらうための仕掛けについての成果と課題をどのように捉えているか。</p> <p>(3) にぎわいづくりを官民協働で加速させていくための計画の策定について伺う。</p> <p>① 田子の浦港港湾計画（平成13年7月）について、観光・交流の促進を強化した計画に改訂するよう県に求めることはできないか。</p> <p>② 本ビジョンの検証結果やコロナ禍の影響等を踏まえ、改めて観光・交流の促進に関しての田子の浦港の在り方や将来像、基本目標などを明確にし、その実現に向けた各種取組・施策や実施手法、ロードマップ、マイルストーン（節目の目標）などを示す、本ビジョンを改訂してのより具体性のある計画の策定を求めるがいかがか。</p>	市長 及び 担当部長